

買い物支援プロジェクト「やまぐちの孝行息子」

令和3年度 運用実績

買い物支援プロジェクト委員会

前期 6/9～8/25 12回実施
利用者数118名

中期 9/1～9/29 5回運行休止
(緊急事態宣言によるもの)

10/6～12/29 12日回実施
利用者数172名

後期

1/5 14名

1/12 15名

1/19 13名

臨時 3/23 11名

臨時 3/30 13名

5回実施
利用者数77名

1/26～3/16 7回運行休止
(まん延防止強化措置によるもの)

年間実施回数	29回
延べ運用車両	59台
参加ドライバー	12名
延べ利用者数	367名



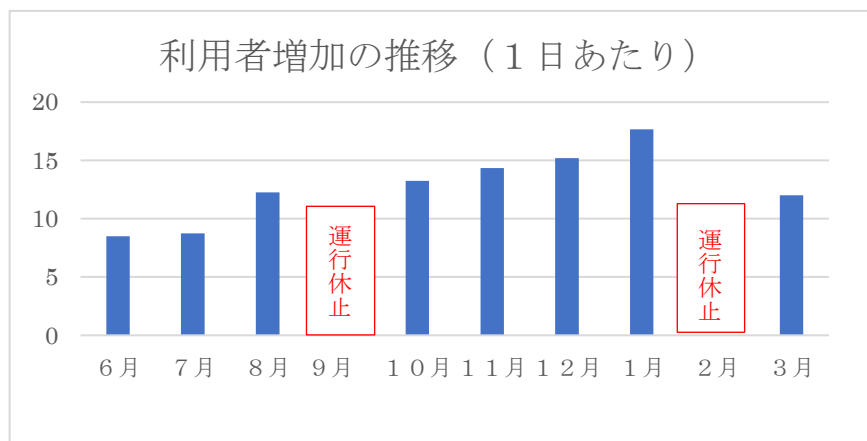
利用の傾向

新規利用者の増加と共にリピート利用も増えている。グループ単位での申し込みも多い。

前期12回（6月～8月）の利用者は延べ118名であったが、中期12回（10月～12月）の利用者は延べ172名と大きく増加している。後期は、まん延防止重点措置により7回運行を休止し、1月は3回実施に留まり、3月に2回臨時運行を行ったものの、後期5回で延べ77名の利用者となっている。

年代別利用者数

65～69歳	1名
70～74歳	1名
75～79歳	3名
80～84歳	9名
85～89歳	13名
90～歳	2名



利用者のうちで複数回利用者29名の年齢（年代別を示した。80歳代が利用者の大半である。

課題と対応

利用者の増加から、現状の2台運用体制から増車、若しくは1週間に2日運用体制を検討する段階になっている。令和4年度運用からは、利用者数に合わせて1台を増車できる体制とする。また、ボランティアドライバーを継続して募集する。（4月から2名が新規参加予定であり、1名が高齢により脱会となる。）



令和3年度における利用者の負担は、燃料代の50円としたが、この事業を長期継続するために利用者負担を増やすことを検討した。

令和4年度の運用から、燃料代及び運用手数料として一人当たり200円の負担に改定する。（運輸局は了承済みであり、現利用者からの理解は得られた。）



利用者からドライバーへ飲料や食品を差し入れて頂くことが多くなった。委員会では利用者との関係を深めるために、差し入れを容認しているものの、常態化しないよう注視していく。

新年度は、4月13日から運用を開始する。

